

◎共生共創事業(狭義)の進行管理

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
予算額(千円)	30,000	75,814	72,437	70,000	70,000	75,000
参加者数(人)						
目標	—	5,000	5,400	5,700	6,000	6,150
実績	2,532	6,947	4,267	4,764	8,152	
達成率	—	138.94%	79.02%	83.58%	135.87%	

※ 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画配信(無観客)で実施。

<参考:予算額(全体)>

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
予算額(千円)				130,165	172,787	201,711

◎用語について

- ・アウトプット(活動結果):インプット(施策や事業に投入される手段(予算等))を用いて実施した事業の実績。
- ・アウトカム(成果):アウトプットによって発生する効果。
- ・ロジックモデル:事業がその目的(最終アウトカム)を達成するに至るまでの論理的な因果関係をアウトプットやアウトカムを用いて明示したもの

アウトプット(2022年度)

《共生共創事業》

- 公演(動画配信を含む。)の実施回数
 - ・障がい者企画 2回
 - ・シニア企画 14回
 - ・その他(多文化共生等) 2回
- シニア劇団の運営(劇団員数、平均年齢)
 - ・横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」 45人、70.3歳
 - ・綾瀬シニア劇団Hale(特別枠除く。) 26人 68.3歳
 - ・小田原シニア劇団アール・デ・イズ 23人、72.0歳
- WS実施やプログラム参加の回数 17回

《シニア合唱》

- 実施箇所 10団地
- 実施回数 70回

《庁内の取組》 ※県主導第三セクター等含む

- 障がい者関連 13回
- シニア関連 7回
- その他(多文化共生等) 7回

《マグカル展開促進補助金交付実績》

- 障がい者関連 7件
- シニア関連 2件
- その他(多文化共生等) 一件

《県内5地域の実施状況(回数)》

○ 横浜・川崎地域	129回
○ 横須賀・三浦地域	47回
○ 県央地域	14回
○ 湘南地域	17回
○ 県西地域	7回
○ その他	1回
合計	215回

短期アウトカム(2019年度~)

2020年度及び2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部無観客動画配信を実施したことにより、共生共創事業の参加者数は目標値に届かなかった。
2022年度は、感染症拡大防止に努めながらワークショップや集客公演を実施するとともに動画配信も行い、目標値を上回ることができた。全庁的にも、ねんりんピックかながわ2022の実施や、外出機会の増加に伴うともいきアートの鑑賞者数増加などにより、出演者数・鑑賞者数ともに大幅な増加となり、共生社会の理念を普及することができた。

《出演者数》

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
○ 障がい者関連	328人	31人	129人	559人		
○ シニア関連	3,740人	4,232人	4,707人	7,534人		
○ その他(多文化共生等)	165人	4人	28人	172人		

《鑑賞者数》

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
○ 障がい者関連	1,113人	(*)0人	13,330人	216,655人★		
○ シニア関連	1,245人	(*)0人	(*)0人	6,851人		
○ その他(多文化共生等)	356人	(*)0人	267人	2,045人		

《動画再生回数》

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
○ 障がい者関連	-回	5,536回	32,450回	12,349回		
○ シニア関連	-回	40,640回	36,873回	12,452回		
○ その他(多文化共生等)	-回	2,025回	9,768回	9,397回		

《県内5地域の参加者数》

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	合計
○ 横浜・川崎地域	3,695人	707人	12,682人	26,408人		
○ 横須賀・三浦地域	2,497人	2,339人	2,508人	4,712人		
○ 県央地域	755人	830人	768人	1,154人		
○ 湘南地域	0人	0人	1,895人	199,902人★		
○ 県西地域	0人	391人	603人	1,130人		
○ その他	0人	0人	5人	0人		

※ 短期アウトカムの2019、2020年度の数値は、「共生共創事業」のみの調査結果
(*) 新型コロナ感染拡大防止のため、動画配信(無観客)で実施。

★ 湘南地域で実施したともいきアート常設展示は、展示場所である大型商業施設の施設管理者からの聞き取りにより、フロア利用者数を参考値としているため、人数が多くなっている。

中間アウトカム(2019年度~)

出演者からは社会とのつながりを感じることができたなどの感想があった。
鑑賞者からは自分も人と違ってよいと励まされた、何歳になっても挑戦してよいと希望が持てたなどの感想が寄せられた。
協働した福祉施設からは、出演者が笑顔になったり誇らしげな顔をしたりするなど良い変化が見られたとの感想をいただいた。

《出演者の意識の変化》
体や心が元気になったと感じた割合

2019年度	79.7%
2020年度	69.4%
2021年度	77.9%
2022年度	体:80.8% 心:83.2%
2023年度	

《鑑賞者の意識の変化》
共生社会の実現が必要と感じた割合

2019年度	84.1%
2020年度	-%※動画配信のためアンケートなし
2021年度	100.0%※動画配信のため回答者少数
2022年度	79.8%
2023年度	

※ 中間アウトカムの2019~2021年度の数値は、「共生共創事業」のみの調査結果。
2022年度以降は、「共生共創事業」、「シニア合唱」「マグカル展開促進補助金」の調査結果。

年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まですべての人が、舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」や、同様の取組を全県展開することで、「ともに生きる社会かながわ」の実現に寄与する。